

第15回

飯舘村のいま

講演：杉下初男（元長泥区長、伊達方部飯舘自治会会長）

日時：6月18日（火）午後4時30分～6時30分

場所：北海道大学高等教育推進機構3階 E311

- 参加無料
- 事前予約不要

第16回

福島以後を大学生・ 市民の対話で 考える

日時：7月16日（火）
午後4時30分～6時30分

場所：北海道大学
高等教育推進機構3階 E311

第17回

地産地消の 新エネルギー： 可能性と問題点

講演：市川克樹（株式会社オフィス・ブレン代表）

日時：8月4日～8月6日（予定）

場所：北海道大学スラブ研究センター4階大会議室など

*具体的な日程や場所は
下記ホームページでお伝えします。

スラブ研究センター公開講演会として開催

チェルノブイリと福島を 地域と世界から考える

講演：家田修（北海道大学スラブ研究センター）

日時：9月28日（土）午後2時～4時

場所：北海道大学スラブ研究センター4階大会議室

主催者連絡先

北海道大学スラブ研究センター
家田研究室

<http://lets-think.com>

veritas-sanitas@hotmail.co.jp

携帯 090-2813-4907

共催

北海道の自然と命の
ネットワーク

<http://hnl-net.bbs.fc2.com/>

一緒に 考えましょう 講座

大学と市民をつなぐ公開講座

2013年6月～9月の予定

この講座は大学と市民をつないで、
東日本大震災後の日本を共に考える公開講座です。
今年度は北大の新入学生と一緒に考える企画を取り
入れました。皆様のご参加をお待ちしています。

大学と市民をつなぐ公開講座

一緒に考えましょう講座

一緒に考えましょう講座のお知らせ

東日本大震災後の日本を共に考える、市民と大学をつなぐ公開講座です。

同講座は2011年秋から始まり、多様な視点から震災復興、原発事故、避難者、放射能などの問題を一緒に考え続けてきました。今年度は北大の一年生に家田が授業（演習「原発事故と地域研究の課題：チェルノブイリと福島」）を行なう縁をいかし、学生と市民が話し合う場を企画しました。このため場所については、いつものスラブ研究センターだけでなく、北大の旧教養部である高等教育推進機構でも開講します。

■ 参加無料 ■ 事前予約不要

高等教育推進機構 北17条西8丁目



スラブ研究センター 北9条西7丁目



第15回

飯館村のいま

福島原発事故で最も深刻な放射線被ばくを受けながら、告知も公的支援も遅れて最後まで飯館村長泥地区に留められた杉下初男さん（元長泥地区長、伊達方部飯館自治会長）をお招きします。長泥で先祖伝来の水脈と農法を守る杉下さんは四世代の大家族で暮らしていました。現在は一家離散の避難生活下で、除染の仕事に携わっています。

*この講演は、家田が北海道大学の学生向け授業として開講している「原発事故と地域研究の課題:チェルノブイリと福島」の一環です。

第16回

福島以後を大学生・市民の対話で考える

授業で学び考えたことをもとに大学生が報告し、また福島とつながって実践を続けてきた市民団体に活動報告をいただき、双方の対話を行ないます。

*この講演は、家田が北海道大学の学生向け授業として開講している「原発事故と地域研究の課題:チェルノブイリと福島」の一環です。

第17回

地産地消の新エネルギー：可能性と問題点

長年エネルギー問題に取り組んできた原子物理学者、市川克樹さんをお招きします。市川さんは小地域でのエネルギー資源をどのように活用するのか、実践的に活躍しておられ、理論と実践のパイオニアとして北海道に提言をいただきます。市川氏に講演や協力を希望する地域や団体は、6月末までに家田研究室に御連絡をいただければ、市川氏をお住まいの地域に招請する事が可能です。

*具体的な日程や場所は下記ホームページでお伝えします。

スラブ研究センター公開講演会として開催

チェルノブイリと福島を地域と世界から考える

9月はスラブ研究センター公開講演会として「チェルノブイリと福島を地域と世界から考える」が開講されます。この講演会では、家田がウクライナと福島飯館村で調査し、考えた成果を報告し、みなさんと語り合います。

*この講演は北海道大学ホームカミングデー企画の一つとしてスラブ研究センターが開催するものです。